



第 1596 回例会

平成 21 年 12 月 7 日(月)

「美登利」 18:30~ 年次総会

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱 「君が代」
3. ロータリーソング 「奉仕の理想」
4. お客様紹介 青少年交換学生 チヤゴ 君
5. 出席報告
会員総数 67 名 出席者数 53 名
出席率 80.33% 前回修正出席率 80.30%

6. 会長スピーチ 会長 花畠 重靖 君
本日は年次総会です。
次年度の役員の承認をよろしくお願ひ致します。
2009 年最後の夜間例会になります。年始は 35 周年記念式典も開催しますので、宜しくお願ひします。



7. 幹事報告 幹事 寺下 卓 君
○例会臨時変更のお知らせ
橋本紀ノ川 RC
12 月 15 日(火)→12 月 13 日(日) 18:00~
帝国ホテル大阪 船着場
クリスマス家族例会
- 有田 2000RC
12 月 16 日(水)→12 月 19 日(土) 19:00~
ドマーニ、湯浅町湯浅
クリスマス(忘年)例会
- 有田南 RC
12 月 22 日(火)→12 月 21 日(月)
橘家 クリスマス家族会

四つのテスト 言行はこれにてらしてから
①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南省日方 1294(海南商工会議所内)
電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花畠 重靖 幹事：寺下 卓 S A A :名手 広之

和歌山 RC

12 月 22 日(火)→12 月 22 日(火) 17:30~
ホテルグランヴィア和歌山
年末家族会

海南 RC

12 月 23 日(水・祝)→12 月 23 日(水・祝)
18:30~ロイヤルパインズホテル
クリスマス家族会

和歌山中 RC

12 月 25 日(金)→12 月 22 日(火) 18:30~
レストラン「サンクシェール」
クリスマス家族例会

那智勝浦 RC

1 月 7 日(木)→1 月 7 日(木) 12:30~
熊野那智大社
初詣例会
1 月 21 日(木)→1 月 24 日(日) 18:30~
ホテルなぎさや
家族親睦新年会

○休会のお知らせ

橋本紀ノ川 RC	12 月 29 日 (火)
有田 2000RC	12 月 30 日 (水)
有田南 RC	12 月 29 日 (火)・1 月 5 日 (火)
和歌山 RC	12 月 29 日 (火)・1 月 5 日 (火)
海南 RC	12 月 30 日 (水)
那智勝浦 RC	12 月 31 日 (木)

8. 委員会報告

○国際大会のご案内

国際奉仕委員会 委員長 柳生 享男君

9. ゲストスピーチ

○青少年交換学生 チヤゴ 君

3ヶ月がたちました。忙しい日が続きました。これからクリスマス、お正月とあります。私の日本語は上手になりましたか?

これからもよろしくお願いします。



年次総会

次年度役員予定者承認の件

当クラブの慣例に従い理事会メンバーをもって、指名委員会とさせて頂き、次年度の役員予定者のご承認の件よろしくお願ひ致します。(承認)



会長	谷脇 良樹
会長ノミニー	田村 健治
副会長	岸 友子
幹事	上野山 雅也
会場監督	三木 正博
会計	楠部 賢計
理事	岩井 克次
理事	大谷 徹
理事	山畠 弥生
理事	横出 廣
理事	柳生 享男

8. 閉会点鐘

次回例会 第 1597 回例会：21 年 12 月 14 日(月)
ゲスト卓話 衆議院議員 石田 真敏 様



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ロータリーの友

R I 会長メッセージ

ロータリー家族

親愛なる同僚ロータリーアンの皆さん、「ロータリー家族」というアイデアは単純なものです。そして、私たちは毎年 12 月に家族月間を祝います。すべてのロータリアンはロータリー家族の一員です。しかし、私たちの家族は 120 万人の会員よりもはるかに多いのです。

ロータリーの家族には、ロータリアンの配偶者や

R I 会長 ジョン・ケニー



子どもたち、ロータリー財団プログラムの参加者や学友、世界中のロータリー社会が実施した何万というプログラムの一翼を担った人々など、私たちの仕事にかかわったすべての人々や子どもたちが含まれています。

ロータリーの若い家族は未来を約束する

「ロータリーファミリー」の最も若い世代は、ローター・アクトクラブやインター・アクトクラブの会員、R Y L A (ロータリー青少年指導者養成セミナー) の参加者、国際親善奨学生、毎年 8,000 人を超える青少年交換学生たちです。どのような家族もそうですが、これらの若者たちは、私たちの明るい未来を約束しています。もちろん、これらの若い人々の多くが、いつの日かロータリアンになってくれることは私の偽らざる願いです。しかし、ロータリーは現在でも彼らの一部であり、彼らはロータリーの一部なのです。

ロータリーは私と妻の両方を必要とした

私の妻、ジューンと私は結婚して 40 年以上がたちました。そして私がロータリアンになって、ほとんどそれに近いくらいの年月が過ぎました。当時、女性はロータリークラブの会員になる資格はありませんでしたが、ジューンは、私が初めてグランジマスロータリークラブに入った日から今日に至るまで、「ロータリーファミリー」の一員でした。そのとき以来、ロータリーでの奉仕活動が、私たち二人を必要としたことはいまでもありません。しかし、私たちがまいた種以上の収穫を得たことも確かです。

競合することのないロータリーの活動

私は、ロータリークラブの会員であることは、家庭生活と家族の相互作用を強めることができる、また、そうあるべきであると信じています。私たちがより多くの、若くて資格のある人たちを魅了するために活動するとき、現在の若い専門職業人たちは、仕事と家族への責任のバランスをとることが多いことを心に留めておくのが賢明でしょう。

ロータリーの奉仕への献身することは、家族への責任と競合するものではなく、補完するものなのです。仕事のない日に例会を設定したり、家族が参加できる活動を企画したり、また、可能なときにはいつでも家族を歓迎することによって、私たちはロータリー家族の一人ひとりが、本当に大きなロータリー家族の一員であると実感できるように手助けをします。それぞれのクラブは、ロータリアンたちとその家族と一緒にロータリー家族がバランスよく作用するよう努力しなければなりません。家族として一緒に活動することこそ、今日のロータリーが、より強力な明日のロータリーへと成長することが保証されているのです。

12月は家族月間です